

第4回 大阪蘇生アカデミー

～院外心停止救命へのベストアプローチ～

2016年12月3日（土）11時～17時05分

サブ会場：10時～13時

特別講演「救急現場での蘇生中止～ニーズと課題～」

演者：救急振興財団 救急救命東京研修所 教授 田邊 晴山

サブ会場「院外心停止記録活用研究会」

※プログラム仔細は次ページ

場所：大阪市消防局

大阪市西区九条南1-12-54

JR西日本大阪環状線

大正駅より北西へ800m



参加費：無料 定員：200名

<http://u0u1.net/yZei>の申し込みフォームより参加申し込みをお願いします。NPO法人大阪ライフサポート協会HPにも、フォームへのリンクがあります。

※大阪府下消防機関所属の方は所属を通じて申込み下さい。

【問い合わせ】京都大学 健康科学センター 担当：尾形 075-753-2435

主催：NPO法人 大阪ライフサポート協会

共催：大阪大学医学部附属病院 高度救急救命センター、近畿大学医学部 救急医学講座
京都大学 環境安全保健機構 附属健康科学センター

後援：大阪府/大阪市

メイン会場 7階 講堂 (開場 10:30)

11:00	開会 京都橋大学 健康科学部 救急救命学科	教授 西本 泰久
11:05	教育講演 1 『大阪救急症例帖2016』 演者:京都大学 環境安全保健機構 附属健康科学センター特定助教 木口 雄之	
11:55	休憩 10分	
12:05	教育講演 2 『いまさら聞けない蘇生領域の基礎知識・豆知識』 演者:大阪警察病院 救急救命科	副医長 廣瀬 智也
12:55	昼休み 70分	
14:05	特別講演『救急現場での蘇生中止～ニーズと課題～』 座長:京都橋大学 健康科学部 救急救命学科 大阪府 政策企画部 危機管理室 演者:救急振興財団 救急救命東京研修所	教授 西本 泰久 課長補佐 林田 純人 教授 田邊 晴山
15:05	症例報告 『中学生長男によるbystander CPRにより母親が社会復帰した症例』 座長:大阪府三島救命救急センター 演者:大阪府 危機管理室 消防保安課	センター長 秋元 寛 主事 福田 誠
15:25	休憩 10分	
15:35	<シンポジウム> 【メディカルコントロール津々浦々】 座長:厚生労働省 DMAT事務局 堺市消防局 救急ワークステーション コメンテータ: 厚生労働省 地域医療計画課 消防庁 救急企画室 トピック 『地域による救命率の違い』 / 『高い救命率の秘密』 『MCと救急隊:関わりの重要性』 / 『最適な現場滞在時間とは』	次長 梶野 健太郎 所長 堀 英治 病院前医療対策専門官 細川 康二 救急専門官 森川 博司
17:05	閉会 大阪大学医学部附属病院 高度救命救急センター	教授 嶋津 岳士

サブ会場 6階 会議A (開場 9:30)

10:00	開会 近畿大学 救急医学	教授 平出 敦
10:05	<院外心停止記録活用研究会> 座長:京都大学 環境安全保健機構 コメンテータ: 厚生労働省 地域医療計画課 消防庁 救急企画室 トピック 『データでみる地域差』 『低体温療法の方法について』 『院外心停止患者救命のための新しい試み』 『院外心停止近年の動向』	教授 石見 拓 病院前医療対策専門官 細川 康二 救急専門官 森川 博司
13:00	閉会 京都大学 環境安全保健機構 附属健康科学センター	教授 川村 孝

第四回 大阪蘇生アカデミー開催概要

副題：院外心停止救命へのベストアプローチ

日時：平成 28 年 12 月 3 日 11:00-17:10

場所：大阪市消防局

趣旨：『院外心停止救命へのベストアプローチ』をテーマに、現場で活躍する救急隊員に有益となるプログラムを用意した。プログラムは、救急業務におけるピットフォール現行の心肺蘇生法の元になったエビデンスに関する教育講演、救急現場での蘇生中止に関する特別講演、メディカルコントロールをテーマにしたシンポジウムであった。シンポジウムでは、病院前救護の充実に尽力されている臨床医の先生方に加え、指導的立場でご活躍なさっている救急救命士の方々もお招きし、各地域で試みられている最新の取り組み等についてご講演いただいた。

成果：医師、看護師、救急救命士、消防士と様々な職種から延べ 256 人と多数の参加者を得られた。院外心停止傷病者への蘇生中止に関する最新の知見や各地域のメディカルコントロールで導入されている救急プロトコールに関する画期的な取り組みを様々な医療従事者に広く伝える事ができた。さらに、救急隊員が知っておくべき救急現場のピットフォールについても効果的に伝えることができた。アンケートからも、参加者の多くが参加に満足しており、次回開催を期待している事が窺えた。

参加者数：延べ 256 人

＜主催＞NPO 法人 大阪ライフサポート協会

＜共催＞大阪大学医学部附属病院高度救命救急センター、近畿大学医学部救急医学講座
京都大学 環境安全保健機構附属健康科学センター

＜後援＞大阪府、大阪市

＜協賛＞フクダ電子(株)、(株)フィリップスエレクトロニクスジャパン、日本光電工業(株)、日本メディカルネクスト(株)、フィジオコントロールジャパン(株)、(株)CU、(株)ジェイ・エム・エス、旭化成ゾールメディカル(株)、オムロンヘルスケア(株)、レールダルメディカルジャパン(株)、(株)アレクソン、浜松ホトニクス、アイ・エム・アイ(株)、大研医器(株)、日本ライフライン(株)、新日本法規出版(株)(順不同)

